鈴鹿サーキット レーシングスクールセンター
HRS事務局
〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992
TEL. 059-378-1617 FAX. 059-378-1618

発行日: 2023年11月19日

第59回NGKスパークプラグ杯
2023年鈴鹿サンデーロードレース最終戦 参戦報告書

鈴鹿サンデーロードレース最終戦 伝統のNGKスパークプラグ杯で HRS鈴鹿Motoアドバンスコース生5名が力一杯の走りをみせた

11月18日（土）公式予選 10:10～10:30 ◎天候・路面:Cloudy/Wet

#67 中谷健心 2位/2'23.712
#12 豊田哲慎 7位/2'26.455
#21 岡田陽大 9位/2'26.855
#8 竹本倫太郎 12位/2'28.218
#11 遠藤翔類 13位/2'28.397

午前10時10分、J-GP3クラスの予選がスタート。前日の雨により、コースのところどころにウェットパッチが残っていたが、走行ラインは乾いており、5名のHRS鈴鹿Motoクラス・アドバンスコース生を含むほとんどのライダーがスリックタイヤをチョイスしてタイムアタックに臨んだ。

気温は10度ほどと低く、風も強かったためにタイムを削るのは厳しい状況で、全体的なペースも決して上がらなかったが、そんな中で#67中谷健心が積極的な走りを見せ、ラストラップの9周目に2'23.712を記録して2番手グリッドを獲得。予選トップとの差はわずか0.3秒ほどで、決勝での走りに期待ができる結果となった。

また#12豊田哲慎は7周目に2'26.455を記録して7番手につける。前戦で最終ラップまで激しいトップ争いを展開した#21岡田陽大は、変更したマシンのセットに手間取り、思うようにタイムを伸ばすことができずに9番手。#8竹本倫太郎は3周目のスプーンカーブで転倒して12位となり、#11遠藤翔類が竹本に続く13位となった。

[50音順]

鈴鹿サーキットレーシングスクールセンター
HRS事務局
〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992
TEL. 059-378-1617 FAX. 059-378-1618

発行日: 2023年11月19日

11月19日(日)決勝レース(フルコース10周)◎天候・路面:Fine/Dry

#21 岡田陽大　総合3位(ナショナル2位/NSFチャレンジ1位)
#67 中谷健心　総合4位(ナショナル3位/NSFチャレンジ2位)
#12 豊田哲慎　総合5位(ナショナル4位/NSFチャレンジ3位)
#8 竹本倫太郎　総合9位(ナショナル5位/NSFチャレンジ4位)
#11 遠藤翔類　転倒リタイヤ

予選が行われた前日とは打って変わってこの日は気温も高く、風もほぼないという絶好のコンディション。フロントローからスタートした中谷はスタートでやや遅れをとってしまうが、対照的に予選9番手の岡田が1周目から積極的に前走車をパスし、オープニングラップを4番手で通過。岡田は2周目には3番手、3周目にはトップにまで浮上する。だが4周目、岡田はポジションを下げ、豊田が2番手に変わった。

5周目、豊田は3番手に下がり、上位の2台との差が開き始めていった。スタートで後れを取った中谷もポジションを戻し、やがて岡田、豊田の背後に迫ると、スクール生3名で激しい3位争いを展開する。その後方、竹本は予選での転倒の影響でマシンにネガが発生し、なかなかペースを上げられないでいる。遠藤もオープニングラップでの他車との接触があり、思うようにペースを上げられず、その後8周目のスプーンで転倒するという結果に終わった。

岡田、豊田、中谷の激しい3位争いはラストラップまで続く。一時はポジションを5番手まで落とした岡田はラストラップ、130Rから日立ASTEMOシケインにかけて再びポジションを回復して3位でチェッカーを受けた。中谷が4位で続き、豊田が5位。竹本はラストラップでポジションをひとつ下げて9位でゴールした。クラス3位の中谷が2023年度鈴鹿サンデーロードレース・ナショナルJ-GP3クラスのチャンピオンに輝いた。

NSFチャレンジ表彰(1位)岡田陽大(中央)　(2位)中谷健心(左)　(3位)豊田哲慎

TAICHI
Arai
EAR PEACE
EIKO Glory of Karting
HRC Honda RACING
ENKEI
ENDLESS Challenge to the Future
EXCEL
KUSHITANI
Sabelt
CCI
SHIBA TUNING JAPAN
sparco
DUNLOP
ThreeBond
TONY KART
NGK SPARK PLUGS
HEPHAIST
BRIDGESTONE
ODYSSEY
PROTEX
PETRONAS
MOTUL
rizoma
RIVAUX
WAKO'S
[50音順]

2023年鈴鹿サンデーロードレース最終戦 第59回NGKスパークプラグ杯 参戦報告書

ナショナルJ-GP3クラス：予選9位 決勝総合3位（ナショナル2位/NSFチャレンジ1位）

岡田陽大（おかだひなた）16歳

『事前のスポーツ走行でマシンを壊してしまい、今回は新しいマシンで参戦することになりました。セッティングは従来通りでしたが、タイムは伸ばせませんでした。予選も戦略をミスしてしまい、不完全燃焼でしたね。決勝でようやくいい流れに乗れた印象です。最後は3台のバトルとなりましたが、前を行く豊田選手と中谷選手のスリップに入り、最後にブレーキングで前に出ることができました。2年目のHRS Motoアドバンス最後のレースで納得できる結果を残したかったので、総合優勝したかったです。今年は岡山国際サーキットの地方選手権を含めて5レース走りましたが、昨年に比べて冷静に走れるようになり、完走率も上がりました。そしてHRS Motoアドバンスの2年間で、ライダーとしてどうあるべきか、ということを学べたと思います。技術はもちろん、知識量も増えました。これまでに学んだことをしっかりと身に付けて、実践できるようにしたいと思います』

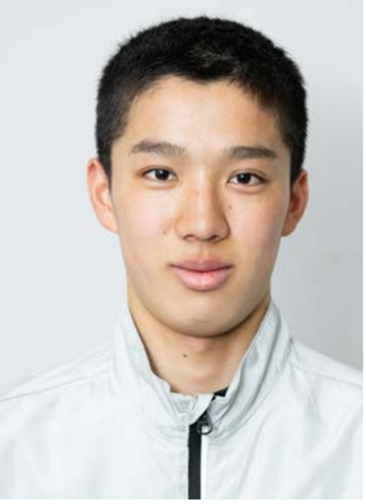
ナショナルJ-GP3クラス：予選2位 決勝総合4位（ナショナル3位/NSFチャレンジ2位）

中谷健心（なかたにけんしん）16歳

『今回の予選は路面が微妙で、序盤は誰もがペースを上げられず、早くドライのペースに上げたかったんだと思います。その状況で2番手にはなれましたが、本当はポールを獲りたかったです。サスペンションのセッティングが決まっておらず、決勝では直前にリアを硬くしてもらったのですが、今度はリアが流れるようになってしまいました。そのセットで走るしかない状態の中でアドバンス生では絶対に1番になりたかったんですが、結局岡田選手に負けてしまいました。総合で一度も優勝できなかったことも悔しいです。今回はマシンのセッティングが上手くいかず、デグナー2個目でハイサイドを起こしてしまい、差を付けていた岡田選手と豊田選手に追いつかれてバトルとなるうちに、前走車に離されてしまいました。このミスも今回の大きな反省点です。もう少し落ち着いて走るべきでした』

ナショナルJ-GP3クラス：予選7位 決勝総合5位（ナショナル4位/NSFチャレンジ3位）

豊田哲慎（とよたてっしん）16歳



『予選はハーフウェットの難しいコンディションで、ウェットパッチに慎重になりすぎました。タイムは徐々に上げられましたが、最初から速いペースで走れたらもっといいタイムが出せたと思います。決勝では序盤にポジションを上げられましたが、上位の選手には付いていくことができませんでした。アドバンスの3人でバトルしている時に自己ベストを0.5秒ほど更新して21秒台に入れられましたが、目標としていたタイムは10秒台でしたし、順位にも満足はしていません。最低でも集団のトップでゴールしたかったです。今シーズンを振り返ると、速いライダーについてタイムを出すことはできるようになりましたが、単独でタイムを出せる能力がまだまだ足りてい無いと感じています。シーズンの序盤はなかなかタイムが出ず、サンデー第3戦でようやく調子を取り戻すことができましたが、もっと早く調子を取り戻せたらよかったと思っています』

[50音順]

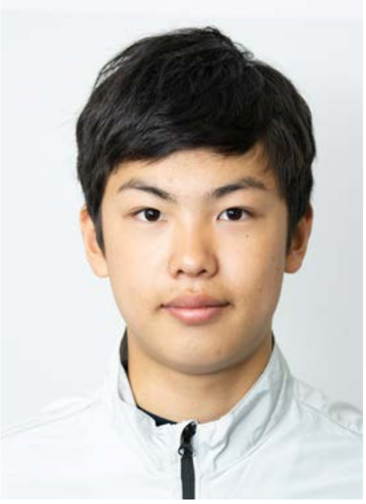
鈴鹿サーキットレーシングスクールセンター
HRS事務局
〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992
TEL. 059-378-1617 FAX. 059-378-1618

発行日: 2023年11月19日

2023年鈴鹿サンデーロードレース最終戦 第59回NGKスパークプラグ杯 参戦報告書

ナショナルJ-GP3クラス：予選12位 決勝総合9位（ナショナル5位/NSFチャレンジ4位）

竹本倫太郎（たけもとりんたろう）15歳



『予選で3周目に転んでしまいました。怪我はなかったんですけど、マシンのパーツを一部交換して決勝に臨んだところ、サイティングラップでマシンに変な症状が発生し、対処することができませんでした。西コースでは問題なかったんですが、東コースではこの症状が大きく出ました。この不具合を抑えるのが精いっぱいで、その間に前からどんどん離されてしまったんです。予選での転倒が、その後の決勝にも大きく影響してしまいました。今年を振り返ると、開幕戦に比べてタイムもかなり良くなり、コーナーでのスピードも上がりました。とはいえまだ乗り方には課題が残っています。マシンを旋回させるべきポイントで、しっかりと回ることができません。来年はアジアタレントカップへの参戦が決まりましたが、開幕戦から上位で走れるように、冬の間にしっかりとトレーニングをするつもりです』

ナショナルJ-GP3クラス：予選13位 決勝転倒リタイヤ

遠藤翔類（えんどうかける）14歳

『今まであまり走ったことがないハーフウェットの予選で、思い切り攻めることができませんでした。走り出しは良かったのですが、その後タイムが伸び悩みました。決勝のスタートは上手く決まり、前のライダーにもついていけました。ですが1周目の日立ASTEMOシケインで他のライダーと接触してコースアウトしてしまい、その間に前のライダーに引き離されてしまいました。その際にもっと冷静に対処できていれば、前のライダーに離されることはなかったのかもしれません。コースアウト後のペースも悪く、結局8周目のスプーンで転倒してしまいました。この1年は、反省するべき点や改善しなければならない点がたくさん見つけられました。特にメンタル面をもっと鍛えないといけないと強く感じました』

[50音順]

鈴鹿サーキットレーシングスクールセンター
HRS事務局
〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992
TEL. 059-378-1617 FAX. 059-378-1618

発行日: 2023年11月19日

2023年鈴鹿サンデーロードレース最終戦 第59回NGKスパークプラグ杯 参戦報告書

岡田忠之 Principal

『全員が決勝でのペースを上げられたという点については良かったですね。とはいえ、レースをどのように組み立てるべきなのかということを、普段からもっと意識しないといけません。そのように意識することがラップタイムにも現れます。さらに、この先世界を目指すのであれば自分自身を追い込んで、もっとどん欲になってほしいところです。今回については、竹本がトラブルでペースを上げられず残念でした。岡田はマシンを交換したため、練習や予選ではタイムを上げられなかったのですが、決勝でペースを上げられたことは評価できますね。また豊田も21秒台にまで入れることができました。次に走る時にも今回のように走れるようになってほしいですね。遠藤もいい位置で走ることができましたが、接触でのコースアウト、そして転倒してしまったことは残念でした。初年度の生徒たちは、2年目の2名に引っ張ってもらい、大きく成長ができた1年だったと思います。しかし、世界に飛び立つのであれば、少なくともサンデーのインターライダーよりも前で走れるようになることは必須です。彼らにはさらに成長してほしいと願っています』

[50音順]